

広報いしかわ

Ishikawa Prefecture

テレビ広報

北陸放送

【ほっと石川】
1月12日(土) PM5:15~5:30
「金沢城(前編)」

石川テレビ

【ウィークリーいしかわ】
毎週日曜 PM5:25~5:30

テレビ金沢

【ぶんぶんセブン】
1月20日(日) AM7:00~7:30
「結婚支援」

北陸朝日

【石川ほっとニュース】
毎週土曜 PM5:55~6:00

ラジオ広報

北陸放送

【県からのお知らせ】
12月28日(金) PM2:30ごろ
1月1日(火・祝) PM1:05

エフエム石川

【素敵にモーニング】
毎週日曜 AM9:55~10:00

メルマガ石川

毎週金曜、おで役に
立つ情報を配信!!
登録はこちらから
https://ishikawa-mmag.com

公式SNS

「ほっと石川」
Twitter Instagram

ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/> Eメール e130500b@pref.ishikawa.lg.jp 行政相談 ☎076(225)1100 ※広報いしかわ内の料金は全て税込み表示です。

県政この1年

未来を見据えた元気な産業づくり

〈中小企業の意欲ある前向きな取り組みの積極的な後押し〉

好調な経済状況を持続・発展させるため「いしかわ中小企業チャレンジ支援ファンド」を創設。新たに「ものづくり企業特別枠」を設け、中小企業の新製品・新技術開発を後押ししました。また、AI(人工知能)、IoT(モノのインターネット)導入による企業の生産性向上を支援するため、資金面での支援として、AI-IoT設備導入費に対する助成枠を拡大、技術面での支援拠点として「いしかわAI-IoT技術支援工房」を開所、加えて、人材育成面での支援として、AI-IoT実践道場を開講しました。



AI-IoT技術支援工房

〈移住促進による人材確保と地域の活力創出〉

12月5日、関西圏における常設のUIターン相談窓口として、「ILAC大阪」を大阪事務所内に開設しました。



ILAC大阪

〈新たな成長市場の獲得に向けた戦略的な販路開拓〉

県内企業の販路開拓を後押しするため、7月に香港で、10月にシンガポールでビジネス商談会を開催しました。

〈戦略的な企業誘致の推進〉

○生産拠点の強化

(株)バイテックベジタブルファクトリーの工場の新規立地や、(株)穴水村田製作所、鹿島興亜電気(株)、澁谷工業(株)、大阪有機化学工業(株)、(株)トランテックス、日本ガイシ(株)、(株)JOLED、(株)ワイエムシィ、長津工業(株)、(株)大和(やまと)の工場増設が決定しました。

○企業等の農業参入の促進など意欲ある担い手の確保・育成

(株)バイテックファーム七尾の中能登工場で栽培されたリーフレタスが初めて出荷されました。

東京オリンピック・パラリンピックや 敦賀延伸を見据えた誘客促進

〈開業効果のさらなる波及に向けた受け地の魅力づくり〉

能登立国1300年を記念し「能登ふるさと博」を4月から通年開催しています。

〈戦略的な海外誘客の促進〉

日本への関心が高まるオセアニアからの誘客拡大を図るため、10月にオーストラリア、ニュージーランドで誘客プロモーションを実施。石川の魅力をアピールしました。

〈文化立県の確立に向けた文化の磨き上げ〉

東京国立近代美術館工芸館の移転は、3月に建設工事に着手しました。金沢城公園は、6月に鼠多門、10月に鼠多門橋の復元整備工事に着手。また、二の丸御殿復元の可能性を検討する調査検討委員会を設置しました。新たな県立図書館は、建物の外観、内部構造などの基本設計をとりまとめ、実施設計に着手しました。また、3月8日に「輪島の海女漁の技術」が国の重要無形民俗文化財に指定。9月25日に山岸一男氏が重要無形文化財「沈金」保持者(人間国宝)に認定。さらに、11月29日に「能登のアマメハギ」を含む「来訪神:仮面・仮装の神々」がユネスコ無形文化遺産に登録されることが決定しました。

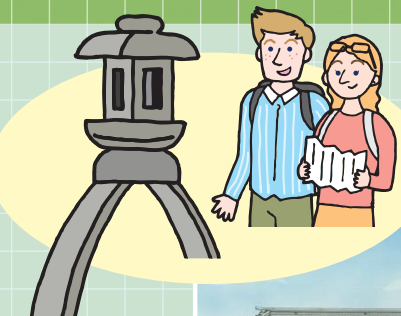


〈スポーツを通じた活力の創造〉

木場潟カヌー競技場でニュージーランドとカナダの選手を受け入れるなど、東京オリンピック・パラリンピックに向けた事前合宿の誘致を推進。6月20日には、県内トップスポーツチームと、スポーツの振興やスポーツを通じた地域の活性化を図る連携協定を締結しました。また11月27日にレスリング世界選手権大会フリースタイル女子59キロ級金メダルの川井梨紗子選手へ、12月10日に世界トランポリン競技選手権大会の女子シンクロナイズド競技金メダルの森ひかる選手、宇山芽紅選手へ、スポーツ特別賞を贈呈しました。

〈第17回日本スカウトジャンボリーの開催〉

8月4日から10日にかけて、珠洲市で「第17回日本スカウトジャンボリー」が開催され、大会には皇太子殿下をお迎えしました。



鼠多門(完成イメージ)



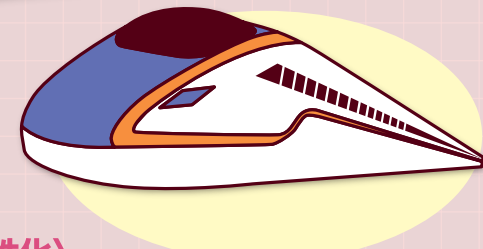
新幹線の多面的活用と人やもののさらなる交流促進

〈北陸新幹線県内全線開業を見据えた対策の推進〉

新幹線県内全線開業に向け、全県一丸で取り組む新たなプランを策定するため、9月5日にアクションプラン検討有識者委員会を設置しました。

〈日本海側の拠点港化を目指す金沢港の機能強化整備と活性化〉

金沢港のクルーズ寄港数は、今年も日本海側トップクラスの47本となりました。さらなるクルーズ船の誘致に向け、11月に横浜港と協定を結んだほか、クルーズターミナルの建設工事に着手しました。また、物流の拠点港としての機能を強化するため、4月にガントリークレーン2号機を設置し、点在していたコンテナ上屋を集約する大型コンテナ上屋の建設にも着手しました。



〈「ダブルラダー輝きの美知」構想の推進〉

のと里山海道の4車線化、金沢外環状道路、加賀海浜産業道路の整備など、広域幹線道路の整備を推進しました。

〈航空ネットワークを活用した交流の促進〉

小松空港は、エバー航空による小松・台北便が就航10周年を迎え、1月には、タイガーエア台湾が小松・台北便を新規就航し、12月には、キャセイパシフィック航空が小松・香港定期便の新規就航を発表しました。のと里山空港は開港15周年を迎え、過去最高の年間利用者数(162,903人)と過去2番目に高い搭乗率(69.2%)を達成しました。



金沢港クルーズターミナル(完成イメージ)



安全・安心のさらなる確保

〈防災対策の充実強化〉

17年ぶりの記録的な大雪に見舞われたことから、2月に石川県道路雪害対策本部を設置。8月から9月にかけての能登地域を中心とした大雨では、11河川が氾濫するなどの被害がでました。また、西日本を中心に発生した7月の豪雨災害では、被災地へ職員を派遣するなどの支援を行いました。頻発する災害を背景として、共助の中心となる自主防災組織の充実・強化を図るため、10月に県内18の大学等と防災協力協定を締結しました。

〈安全・安心と豊かな環境づくり〉

いしかわ動物園では、6月13日にライチョウの人工ふ化に成功し、3羽のオスが順調に成育しています。こうした取り組みが高い評価を受け、さらにオス・メスの成鳥各1羽を受け入れ、来年春から繁殖に取り組むことが決定。12月14日には一足早くメスの成鳥1羽を受け入れました。



〈結婚や出産の希望がない安心して子育てできる社会づくり〉

従業員の仕事と生活の両立を図るため、6月に条例を改正し、企業が定める一般事業主行動計画の策定・公表の義務の対象を拡大。また、結婚の際の経済的負担の軽減と社会全体で応援する機運の醸成を目的とした「石川しあわせ婚応援パスポート」制度を創設し、1月に利用開始しました。



〈みんなで支える安らぎと絆の社会づくり〉

引き続き県民に信頼される高度専門病院を目指し、1月9日に新県立中央病院を開院。9月には、新病院を基地病院としてドクターヘリも導入しました。また、障害のある人もない人も尊重し合い、共生できる社会の実現へ向け、石川県手話言語条例を制定し、4月1日から施行しました。

